

# 川口・鳩ヶ谷市内小学生のアレルギー性疾患の 有病率と大気汚染の関係についての検討

出典	アレルギー (0021-4884) 47 巻 11 号 Page1190-1197(1998. 11) ( <a href="http://search.jamas.or.jp/link/ui/1999091748">http://search.jamas.or.jp/link/ui/1999091748</a> )
著者	大山昇一 他
調査地域	埼玉県川口市・鳩ヶ谷市
調査時期	1996 年
調査対象	小学生 (6~12 歳)
依頼数	29274 人
有効回答数	25613 人
有効回答率	87.5%
診断方法	自己申告 (既往)
有症率	7.8%
調査概要	川口・鳩ヶ谷市内の小児のアレルギー性疾患 (喘息、アトピー性皮膚炎、鼻炎、結膜炎) の有病率と大気汚染の関係についての検討した論文。 大気汚染物質 (二酸化窒素、二酸化硫黄) と有病率に関連は認めなかった。